



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場会社名 オルガノ株式会社

上場取引所 東

コード番号 6368 URL <http://www.organo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内田 裕行

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 秋元 英良

TEL 03-5635-5111

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日

平成25年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	26,791	△9.4	△429	—	△229	—	△134	—
25年3月期第2四半期	29,566	△2.2	1,010	△51.2	1,045	△47.4	634	△40.4

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 94百万円 (△85.4%) 25年3月期第2四半期 644百万円 (△39.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△2.34	—
25年3月期第2四半期	11.01	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	76,772	—	44,513	—	—	58.0
25年3月期	85,309	—	45,207	—	—	52.5

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 44,513百万円 25年3月期 44,766百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	6.00	—	12.00
26年3月期	—	4.00	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.00	—	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,000	0.4	500	△85.7	550	△85.9	350	△86.4	6.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	57,949,627 株	25年3月期	57,949,627 株
26年3月期2Q	341,364 株	25年3月期	339,153 株
26年3月期2Q	57,609,090 株	25年3月期2Q	57,616,029 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策、円安などを背景に、緩やかな景気回復に向かいつつあり、世界経済も債務危機に苦しむ欧州経済や成長に減速がみられていた中国をはじめとする新興国経済にも底入れ感が始まっていますが、全体としては未だ先行き不透明なまま推移しました。

当社グループを取り巻く市場環境は、国内では企業の生産活動は緩やかな持ち直しが見られるものの、設備投資の本格的な回復には至らず、主たる海外市場であるアジア地域においても、価格競争は一段と激しさを増しており、引き続き厳しい状況にあります。

このような状況の下、当社グループは、平成25年度より3ヵ年の中期経営計画をスタートさせ、産業全般、海外、純水・排水両輪での事業拡大という事業ポートフォリオの転換をさらに加速させ、機動的な開発・製造・営業体制の構築を目指すとともに、一層のコストダウン、工事力の強化により、収益の改善に取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間は受注高32,354百万円（前年同期比1.6%増）、売上高26,791百万円（同9.4%減）、営業損失429百万円（前年同期は営業利益1,010百万円）、経常損失229百万円（前年同期は経常利益1,045百万円）、四半期純損失134百万円（前年同期は四半期純利益634百万円）となりました。

事業のセグメント別業績は次のとおりであります。

## [水処理エンジニアリング事業]

当事業におきましては、国内では受注はほぼ前連結累計期間並みに留まりましたが、電力分野をはじめとする産業全般で設備投資やメンテナンス、改造工事の延期などにより売上が減少しました。一方、海外では電子産業分野を中心に順調に推移し、受注及び売上ともに増加しました。営業利益は売上高の減少や売上構成の変化、採算性の低下などにより減少しました。この結果、受注高22,833百万円（前年同期比3.7%増）、売上高17,464百万円（同13.8%減）、営業損失1,000百万円（前年同期は営業利益556百万円）となりました。

## [機能商品事業]

当事業におきましては、顧客工場の操業度が緩やかに回復している中で、受注及び売上はほぼ前連結累計期間並みとなる一方、採算を改善した結果、受注高9,521百万円（前年同期比3.0%減）、売上高9,326百万円（同0.2%増）、営業利益570百万円（同25.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ8,536百万円減少し、76,772百万円になりました。これは主に、受取手形及び売掛金9,772百万円の減少によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ7,842百万円減少し、32,259百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金4,626百万円の減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ693百万円減少し、44,513百万円になりました。これは主に、配当金の支払及び四半期純損失の計上に伴う利益剰余金480百万円の減少によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,725百万円増加し、10,529百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動によって得られた資金は、5,142百万円となりました。これは主に、売上債権の減少10,602百万円による資金の増加に対し、仕入債務の減少5,004百万円による資金の減少があったことによるものであります。（前第2四半期連結累計期間は2,348百万円の支出）

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動によって支出された資金は、985百万円となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出678百万円によるものであります。（前第2四半期連結累計期間は625百万円の支出）

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動によって支出された資金は、2,704百万円となりました。これは主に、短期借入金の純減額1,006百万円による資金の減少、長期借入金の返済による支出1,350百万円及び配当金の支払345百万円によるものであります。（前第2四半期連結累計期間は264百万円の収入）

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年10月28日に公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」の業績予想から変更はありません。なお、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項(法定実効税率を使用する方法)に準じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,809	10,535
受取手形及び売掛金	31,427	21,654
リース投資資産	7,902	9,158
商品及び製品	3,978	3,794
仕掛品	5,248	3,380
原材料及び貯蔵品	923	954
繰延税金資産	839	1,268
その他	1,653	1,606
貸倒引当金	△112	△107
流動資産合計	60,671	52,244
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,428	17,521
減価償却累計額	△10,199	△10,444
建物及び構築物(純額)	7,228	7,077
機械装置及び運搬具	4,937	4,993
減価償却累計額	△4,106	△4,177
機械装置及び運搬具(純額)	830	815
土地	12,494	12,497
建設仮勘定	84	18
その他	4,144	4,179
減価償却累計額	△3,444	△3,518
その他(純額)	699	661
有形固定資産合計	21,338	21,070
無形固定資産		
投資その他の資産	326	388
投資有価証券	1,207	1,321
繰延税金資産	1,456	1,439
その他	470	472
貸倒引当金	△161	△164
投資その他の資産合計	2,972	3,069
固定資産合計	24,637	24,527
資産合計	85,309	76,772

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,024	10,398
短期借入金	10,848	9,266
未払法人税等	646	291
前受金	1,513	2,103
繰延税金負債	7	25
賞与引当金	954	875
製品保証引当金	147	135
工事損失引当金	290	135
その他	2,558	1,585
流動負債合計	31,991	24,818
固定負債		
長期借入金	4,053	3,302
繰延税金負債	4	7
退職給付引当金	3,959	4,021
その他	92	108
固定負債合計	8,110	7,440
負債合計	40,101	32,259
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,225	8,225
資本剰余金	7,508	7,508
利益剰余金	29,397	28,916
自己株式	△325	△325
株主資本合計	44,805	44,324
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	186	223
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△225	△33
その他の包括利益累計額合計	△39	189
少数株主持分	441	—
純資産合計	45,207	44,513
負債純資産合計	85,309	76,772



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	29,566	26,791
売上原価	21,979	20,343
売上総利益	7,587	6,447
販売費及び一般管理費	6,576	6,877
営業利益又は営業損失(△)	1,010	△429
営業外収益		
受取利息	14	26
受取配当金	9	10
固定資産賃貸料	15	15
為替差益	43	211
その他	55	29
営業外収益合計	139	294
営業外費用		
支払利息	66	52
持分法による投資損失	28	30
その他	9	11
営業外費用合計	104	94
経常利益又は経常損失(△)	1,045	△229
特別利益		
固定資産売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産廃棄損	3	2
投資有価証券評価損	10	—
施設利用権評価損	6	—
その他	—	0
特別損失合計	20	2
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,024	△230
法人税等	367	△96
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	657	△134
少数株主利益	23	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	634	△134

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	657	△134
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27	37
繰延ヘッジ損益	△3	△0
為替換算調整勘定	18	191
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△0
その他の包括利益合計	△13	228
四半期包括利益	644	94
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	616	94
少数株主に係る四半期包括利益	27	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,024	△230
減価償却費	558	516
引当金の増減額(△は減少)	18	△185
受取利息及び受取配当金	△24	△37
支払利息	66	52
為替差損益(△は益)	△37	△118
持分法による投資損益(△は益)	28	30
投資有価証券評価損益(△は益)	10	—
固定資産廃棄損	3	2
売上債権の増減額(△は増加)	2,785	10,602
リース投資資産の増減額(△は増加)	262	△1,264
たな卸資産の増減額(△は増加)	△783	2,244
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,520	△5,004
その他	540	△915
小計	△1,065	5,692
利息及び配当金の受取額	24	36
利息の支払額	△68	△50
法人税等の支払額	△1,239	△536
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,348	5,142
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△635	△267
無形固定資産の取得による支出	△30	△45
投資有価証券の取得による支出	△5	△678
貸付けによる支出	△191	—
貸付金の回収による収入	230	0
その他	5	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△625	△985
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,112	△1,006
長期借入金の返済による支出	△1,500	△1,350
配当金の支払額	△345	△345
その他	△2	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	264	△2,704
現金及び現金同等物に係る換算差額	47	273
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,662	1,725
現金及び現金同等物の期首残高	10,273	8,804
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,610	10,529

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	水処理エンジ ニアリング 事業	機能商品 事業	計	
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	20,253	9,312	29,566	29,566
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	20,253	9,312	29,566	29,566
セグメント利益	556	454	1,010	1,010

(注) セグメント利益は、営業利益ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業利益との間に差異はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	水処理エンジ ニアリング 事業	機能商品 事業	計	
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	17,464	9,326	26,791	26,791
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	17,464	9,326	26,791	26,791
セグメント利益又は損失(△)	△1,000	570	△429	△429

(注) セグメント利益又は損失は、営業利益又は営業損失ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業損失との間に差異はありません。